



2024年

ネクタリン病害虫防除暦

J A 中野市営農センター

回数	散布日	散布時期	散布薬剤 (水 100 ㍓当り)	収穫前 使用時期	使用 回数 (以内)	散布量 ㍓/10a	対象病害虫 (発生病害虫)	注 意 事 項
1	月 日	発芽前	(水 9 8 ㍓) アプロードフロアブル 100m㍓ キンセット水和剤 80 100g スプレーオイル 2㍓	7日前 開花直前 発芽前	2回 5回 —	300	せん孔細菌病 (縮葉病) カイガラムシ類幼虫 ハダニ類	①【代替】キンセット水和剤 80・アプロードフロアブルに代えて、石灰硫黄合剤の 10 倍 (発芽前) でもよい。 * 石灰硫黄合剤は隣接するハウスビニールにかからないよう注意する。
◆ せん孔細菌病対策：重要防除期間 (開花直前 ~ 6 月中下旬) の防除と併せて春型枝病斑の切除を徹底し、園地内の菌密度を減らす。								
2	月 日	開花直前	展着剤 (アビオン-E) IC ボルドー412 50m㍓ 3.3kg	—	—	350	せん孔細菌病	* せん孔細菌病対策 開花期~6月まで、春型枝病斑の切除を徹底する ①展葉後のボルドー散布は薬害を生じるため、散布時期を厳守する。 ②アブラムシ類対策 落花直後の散布にウララ DF の 2,000 倍 (7 日前、2 回) を加用する。 ③【代替】第 4 回散布：トレノックスフロアブルに代えて、ストロビードライフロアブルの 2,000 倍 (前日、3 回) でもよい。
3	月 日	落花直後	展着剤 (アビオン-E) サムコルフロアブル 10 20m㍓ パレード 15 フロアブル 50m㍓ マイコシールド 66g	3日前 前日 28日前	2回 2回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 モモハモグリガ ハマキムシ類 コスカシバ	
4	月 日	5月中旬 (前回から 10日後)	展着剤 (アビオン-E) モスピラン顆粒水溶剤 25g トレノックスフロアブル 200m㍓ マイコシールド 66g	3日前 30日前 28日前	3回 5回 5回	400	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 アブラムシ類 モモハモグリガ シンクイムシ類 カメムシ類	
5	月 日	5月下旬 (前回から 10日後)	展着剤 (アビオン-E) トレノックスフロアブル 200m㍓ ハチハチフロアブル 50m㍓ マイコシールド 66g	30日前 前日 28日前	5回 2回 5回	500	せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類	①【代替】第 5 回散布：マイコシールドに代えて、クプロシールドの 1,000 倍 (—、—) でもよい。ただし、葉に薬害を生じる恐れがあるため、クレフノンの 100 倍を加用し、展着剤はハイテンパワーの 1,000 倍を使用する。
6	月 日	6月上旬 (前回から 10日後)	展着剤 (アビオン-E) アルバリン顆粒水溶剤 50g トレノックスフロアブル 200m㍓ マイコシールド 66g	前日 30日前 28日前	3回 5回 5回		せん孔細菌病 黒星病、灰星病 シンクイムシ類 モモハモグリガ アブラムシ類 カメムシ類	②【代替】 ハチハチフロアブルに代えてイカズチWDG の 1,500 倍 (前日、2 回) でもよい。 ③カイガラムシ類対策 コルト顆粒水和剤の 2,000 倍 (前日、3 回) を加用する。
7	月 日	6月中下旬	展着剤 (アビオン-E) デランフロアブル 166m㍓ オリオン水和剤 40 100g スターナ水和剤 100g	14日前 21日前 7日前	2回 2回 3回	せん孔細菌病 ホモブシス腐敗病 黒星病、灰星病 カイガラムシ類 アブラムシ類 モモハモグリガ	①晩生種：せん孔細菌病対策 スターナ水和剤に代えてマイコシールドの 1,500 倍 (28 日前、5 回) を使用する。	
8	月 日	7月上旬	展着剤 (ハイテンパワー) ナリアWDG 50g イカズチWDG 66g	前日 前日	2回 2回	灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アザミウマ類	①ナリア WDG はぶどう (ピオーネ、サニールージュ)、西洋梨ル・レクチェに薬害を生じるため、飛散しないよう注意する。	
9	月 日	7月中下旬	展着剤 (ハイテンパワー) オンリーワンフロアブル 50m㍓ エクシレルSE 20m㍓	前日 前日	3回 3回	灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 モモハモグリガ	①ハダニ類対策 ダニコングフロアブルの 2,000 倍 (前日、1 回) を加用する。	
10	月 日	8月上旬	展着剤 (ハイテンパワー) ベルコートフロアブル 50m㍓ アーデントフロアブル 50m㍓	前日 前日	2回 3回	灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 カメムシ類 アザミウマ類		
11	月 日	8月中下旬	展着剤 (ハイテンパワー) アルバリン顆粒水溶剤 50g オーシャインフロアブル 50m㍓	前日 前日	3回 3回	灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病 シンクイムシ類 モモハモグリガ カメムシ類 アブラムシ類	①【もも混植園】アザミウマ類対策 ディアナ WDG の 10,000 倍 (前日、2 回) を加用する。	
12	月 日	9月上旬	展着剤 (ハイテンパワー) ベルコートフロアブル 50m㍓	前日	2回	灰星病、黒星病 ホモブシス腐敗病	①【もも混植園】シンクイムシ類対策 アーデントフロアブルの 2,000 倍 (前日、3 回) を加用する。	
13	月	収穫終了後	展着剤 (アビオン-E) IC ボルドー412 50m㍓ 3.3kg ダイアジノン水和剤 34 100g	—	—	せん孔細菌病 シンクイムシ類 ハマキムシ類 クワコナカイガラ ムシ若齢幼虫	①ダイアジノン水和剤 34 は 1 回目の散布のみ使用する。	
14	月 日	9月上中旬 ~					②【代替】ICボルドー412に代えて、ムッシュボルドーDFの500倍(開花前まで)でもよい。薬害が心配される場合は、クレフノンの100倍を加用する。	
15	日	3回散布					③コスカシバ対策 フェニックスフロアブルの4,000倍(収穫前日、2回)を樹幹部及び主枝に十分かかるように散布する。	

【安心・安全な農産物生産のために使用基準を厳守しましょう】

混用例：展着剤⇒液剤⇒乳剤⇒顆粒水溶剤⇒水溶剤⇒フロアブル⇒ドライフロアブル (DF) ⇒顆粒水和剤 (WDG) ⇒水和剤

当防除暦の複製・コピーを禁止します